



校長室だより

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和6年6月14日
第11号

学校の外壁改修と屋上防水の工事の作業が少しずつ進んでいます。校舎の巡りは足場でぐるりと覆われ、落下防止のガードも張られました。見るからに物物しく、校舎内はやや薄暗くなりましたが、安全第一で作業をしておられることが分かります。高所での作業は危険と隣り合わせのことも多いでしょう。大変お疲れ様です。そうしてきびきびと働いておられる大人の姿を垣間見ること、子供たちがいろいろなことを学び感じ取る機会も、これからどんどん増えていくと思います。



今週は真夏日並みの暑い日が続き、各教室のエアコンを使う時間帯も増えてきました。教室の戸や窓を閉めると、時折聞こえる工事の音も少し小さくなり、学習に集中しやすくなるよさもあります。暑さに負けず、やがてきれいに生まれ変わる校舎の姿を思い描きながら、まずは残りの1学期を皆で元気に過ごしていけることを願っています。



学習意欲の芽はいろいろなところに…

さて、先日いつものように学校内をぐるぐる回って、ちょうど4年教室をのぞいたところ、渡邊先生が助かったというような顔で「それでは校長先生にちょっと聞いてみましょう」と子供たちに話しました。見ると、国語で漢字の学習をしているところだったようです。

「〇〇さんからの質問なのですが…、漢字には音読みと訓読みがありますよね。音読みだけの漢字はありますが、訓読みだけの漢字はありますか？」
渡邊先生の質問が終わると子供たちはいっせいに私の方を見ました。すぐに答えを教えてほしい、という表情です。そこで私は、



「漢字は中国で作られたものがまずは音読みで伝わって、その後、日本でその意味に合う訓読みを必要に応じて当てていったのです。だから、音読みだけでもよい漢字は訓読みがなく音読みだけ。逆に、訓読みだけの漢字は普通はありません。でも日本人は賢いので、そのうち中国にはなかった新しい漢字を自分たちで考えて作ることもしたのです。そういう漢字の中には訓読みだけのものもありますね。（たとえば？）…そうですね、山に上下と書く峠（とうげ）とか、ころもへんに上下と書く袴（かみしも）とか、…。また、はたらくの働も日本人が作った漢字ですよ。日本人はそこにドウという音読みまで新たに考え出しました。その働（ドウ）の字を、今では逆に中国が輸入して使っています。」

「へえ～！」「ほかに訓読みだけの、日本人が作った漢字はあるかなあ？」

「それは…」と私は一瞬考え直し、こう言いました。

「それは自分で調べて、わくスタノートにでも書いてくるといいかもしれませんね。」

そこでいったん私はその場を離れたのですが、西階段を降りている途中に、遠く4年教室から「また校長先生に来てもらわないと！」というどよめきが聞こえてきます。私はさりげなく引き返してみました。

「ああ校長先生！ もう一つ新しい質問です。貝（かい）と皿（さら）には音読みはありますか？」

「…！？ そうですね、2つとも訓読みですね。でも、どちらも中国で出来た漢字なので必ず音読みがあるはずですよ、それも各自で調べてみるといいですね。」

その後、4年生は早速タブレットや何やらで各自調べ始めているようでした。この時の子供たちは本当に真剣そのもの。漢字の謎を解き明かしたい、正しい答えが知りたい、調べてみよう！という気持ちでいっぱいようでした。素敵です。学習意欲の芽はいろいろなところにあるのですね。

さて、翌日職員室で渡邊先生から「〇〇さんが日本で出来た漢字を調べてきていました。鰯（いわし）とか魚の漢字がいくつかありました」と教えてもらいました。私からは、貝と皿の音読みを調べたので渡邊先生に教えました。貝の音読みは…、おっと、興味がある方は是非ご自分で調べてみてくださいね。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()

よい姿勢で食べていますか？ ～石橋先生の給食訪問から～

11日(火)は黒部市学校給食センター栄養教諭の石橋美由紀先生の訪問日でした。石橋先生は当番の配膳の様子を見たあと、パワーポイントを使って食事の際の姿勢のポイントについてお話をされました。机に向かい鉛筆を手にして学習するときの姿勢と、箸を持ちご飯を食べるときの「よい姿勢」には共通点が多いそうです。今回、お話を聞きながら急に背筋を伸ばしたりお椀を正しく手に持ち直したりする子もいました。当たり前と思えることでもついついおろそかになることがありますね。いつもよい姿勢を心がけていきましょう。



シリーズ「教室におじゃまします」6/12(水)5年社会科の巻

5年生の社会科は城石律子先生が担当しています。この日は「沖縄のあたたかい気候を生かした農業」の続きでした。前回の内容を先生の質問に答えながら確認します。「沖縄の宝といわれ、沖縄の作物の中で一番多く作られている作物は？」→「サトウキビ！」

「サトウキビが沖縄で作られている理由は？」→「台風に強い!」「高温・高湿度に合っている」こうしたやりとりをととてもテンポよく重ねながらポイントを確認していきます。「はい」の挙手も「同じです」のハンドサインもどんどん上がります。子供たちの頭の中が高速で回転している、密度の濃い時間です。

このあと、教科書の内容にぴったり合った動画を見ながら、実際の農家さんの言葉やサトウキビ生産や加工の様子等を学習しました。サトウキビのほかにも、沖縄で栽培されている

特徴的な作物として、パイナップルや菊花(電照菊)があります。この2つについても動画等を活用しながら学習しました。城石先生が黒板にポイントを整理するスピードと、口に出して説明する声の調子に熱量が感じられ、子供たちもそれにつられるように集中してノートに記録をとっている姿が印象的でした。

最後はお楽しみの確認クイズです。先生が事前に用意してきたパワーポイントの画面に注目しながら○か×かを答えます。この日は全部で8問。自分が獲得したポイントを専用のシートに記録して授業終了です。



<おまけのひとりごと>城石先生が子供たちに見せていた動画があまりにも教科書の内容にぴったりと合っていたので、授業後に先生に聞いてみました。すると今年度からの新しい教科書には、授業で使える資料用の動画が教師用にいろいろついてきているとのこと。そう言えば以前おじゃました3年生の算数では、子供の教科書にQRコードがバッチリついていましたっけ。うまく活用するといろいろなことができそうです。今時の教科書は本当にすごいですね。ここ数年まともに授業をしていない私はリアル浦島太郎です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()